

# 令和4年度 裁判員等経験者意見交換会 開催概要

令和5年3月7日、8名の裁判員等経験者に御参加いただき、法曹三者との意見交換会を実施しました。当日の様子を一部ご紹介します。なお、当日は、報道関係者6名と県内の大学生29名が傍聴しました。



裁判員制度



## 裁判員等を経験しての感想

訴訟関係人から提出された裁判資料はよく整理されており、また、気になった点があっても裁判官がきちんとフォローしてくれたので、心配することはなかった。

裁判は重苦しいというイメージがあったが、実際には、ホワイトボードを使って、自由に自分の意見を言い合える雰囲気の中でスムーズに議論できた。

被告人やその家族の言葉を目の前にすると私情が入ってしまうこともあった。そのような私情だけではなくて、被告人が犯した事実や被害者の気持ちなども踏まえて考えなければならぬのが判決だということが分かった。

被害者の思いや被告人のこれからの人生を考えると、量刑を決める過程が本当に苦しかった。

最初に裁判長から「評議の場は乗り降り自由です。良い意見があったら良い意見に乗ってください。」と言われ、自由闊達に議論できたと思う。これは一般社会においても非常に重要なことだと感じた。

## これから裁判員等になれる方へのメッセージ

私情も含めて市民感覚だと思う。一般市民の多様な意見を述べあうことが大事だと思うので、気後れせずに参加していただきたい。

とまどいや驚きはあると思うが、本当に貴重な経験になると思う。専門的な知識がなくても対応できるので、率先して引き受けていただきたい。

裁判員での経験は今後の自分の人生に役に立つと感じている。是非皆さんにも経験してほしいと思う。

裁判所は堅苦しい場所というイメージだったが、裁判長はじめ裁判所の方々が優しく接してくれて、すんなり溶け込むことができた。皆さんもまずは飛び込んでみてほしい。

大変難しい内容で、期間も長い裁判員裁判を担当して大変だったが、やって良かったと思っている。もし、裁判員候補者として呼び出しがあったら、是非対応していただきたいと思う。

## 傍聴した大学生の感想

裁判員等経験者の話を直接聞くことができ、裁判員のやりがいと大変さの両面がよく分かった。自分も選ばれたら参加したいと思った。

評議は重苦しくてなかなか発言できない場というイメージがあったが、実際には、活発な意見交換が行われていると知り驚いた。

裁判員等経験者の意見や感想を聞いて、思っていたよりも自分自身と近い目線だったことに驚いた。裁判員制度のイメージがかなり変わった。

イメージしていたよりも考えることが多くて精神的に負担が大きいと感じた。